

バイデン大統領の支持率低迷とFRB①



シニア・ストラテジスト 石黒英之

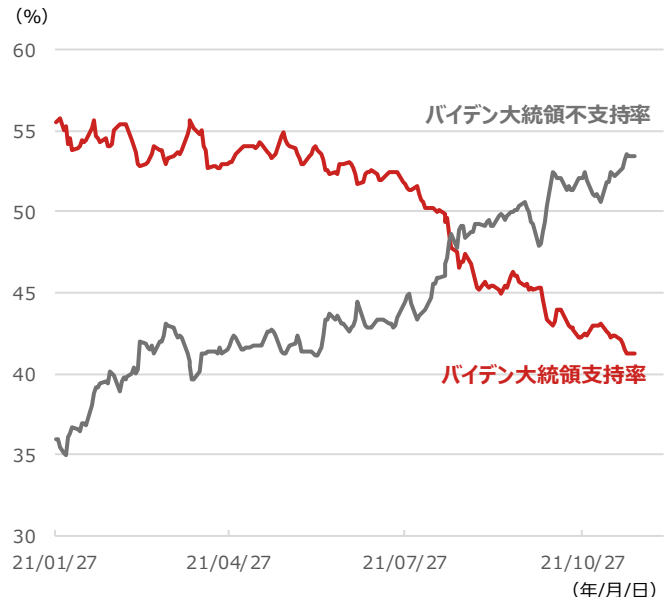
ポイント① FRBの政策姿勢に変化の兆し？

11月22日にバイデン大統領は、パウエルFRB（米連邦準備制度理事会）議長の再任とブレイナード理事の同副議長への昇格方針を発表しました。パウエル氏は会見で「インフレ高進が定着しないよう、ツールを活用する」と述べ、ブレイナード氏も「インフレ率を押し下げる」と発言するなど、両氏が金融引き締めに向きを示したことはFRBの政策姿勢が変化する可能性を示したとみられます。これにより名目金利が上昇し、その結果、実質金利が上昇するなど、金融政策の風向きが変わりつつある兆候が出始めたことは米国株にとって懸念材料です。両氏がインフレへの対処に向きを示した背景には、インフレ長期化によりバイデン大統領の支持率が足元で低下していることが考えられます（右上図）。

ポイント② バイデン大統領はインフレ抑制へ

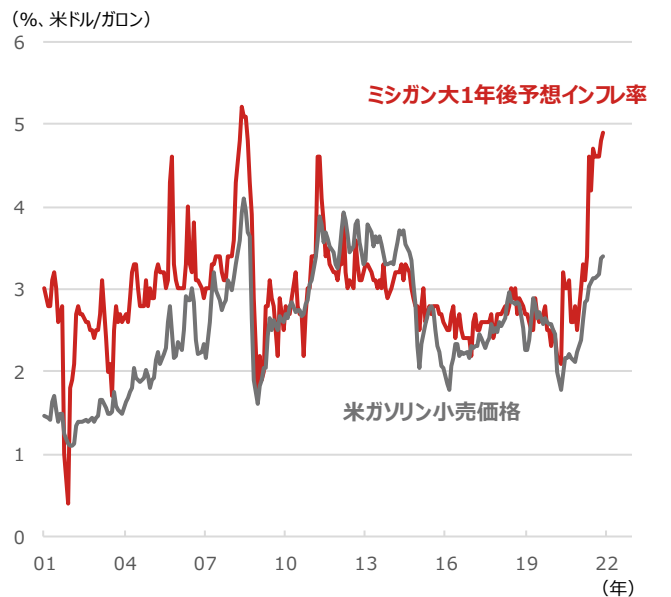
11月23日にホワイトハウスが米国の石油備蓄の放出を発表し、日本、中国、英国等との協調で実施される見通しです。バイデン大統領が自身の支持率アップに向け、インフレ抑制に取り組むことが急務と認識していることが、こうした点からも指摘できるでしょう。ミシガン大学が公表している1年後予想インフレ率と米ガソリン小売価格はほぼ連動（右下図）しており、バイデン大統領は石油備蓄の放出で、ガソリン価格の上昇に歯止めをかけ、インフレを抑制し、支持率向上に結び付けたいとの狙いがあるとみられます。2022年の中間選挙に向けてFRBにも金融政策の正常化を暗に求める可能性があるかもしれません。現時点で米国株式相場への影響は限定的ですが、今後のバイデン大統領とFRBの関係を注意深く見守る必要がありそうです。

バイデン大統領の支持率・不支持率



期間：2021年1月27日～2021年11月22日、日次
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

ミシガン大1年後予想インフレ率と米ガソリン小売価格



期間：(ミシガン大1年後予想インフレ率) 2001年1月～2021年11月、月次
(米ガソリン小売価格) 2001年1月最終週～2021年11月22日、月次
・ミシガン大1年後予想インフレ率の単位は%
・米ガソリン小売価格の単位は米ドル/ガロン
(出所) Bloombergより野村アセットマネジメント作成

*当資料は、一部個人の見解を含み、会社としての統一の見解ではないものもあります。

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。